

駒ヶ根市文化財

名称	善福寺の三十三観音像
種別	民俗・芸能
指定	市・民俗文化財(平成元. 9.21)
所在地	東伊那大久保
所有者	善福寺
説明	<p>善福寺の三十三観音像は善福寺裏山に祀られている石仏群である。</p> <p>この三十三観音は法華經の普門品(ふもんぼん)に説く三十三観音ではなく、施主の願望によって造像されたものらしい。</p> <p>造立は文化年間(1804～1818)初期と推定される。</p> <p>守屋貞治(もりやさだじ)の作が二体(准胝(じゆんてい)観音・如意輪(にょいりん)観音)あることで知られているが、他の作者はほとんど知られていない。十二番、十一面観音の右裏面に「田原村、石屋重郎右衛門」の印刻があるのみで、一名の作者名が知られるくらいである。一点ごと観察すると、六名以上の石工たちによって彫刻されていることが判断される。これらの石工は、東伊那を含む近在の石工たちによって、分担して彫造されたことが推察される。</p> <p>特に、一番、三十三番の石仏は見事であり、この石仏を彫造した石工が主体となって大方の石仏を仕上げている。この石工の石仏が東伊那の範囲内から四十体ほどが確認され、東伊那、または富県あたりの地元石工であったと思われる。なお、本堂と前庭には貞治の石仏がある。</p>



十八番 守屋貞治作



三十三番 作者不明